

共産党 都一般会計予算案に賛成

石原都政の流れから 一定の変化を評価

日本共産党東京都議団は3月30日、小池知事が編成した2017年度一般会計予算案に賛成しました。

予算案の主な前進面

- ▽保育園の待機児童解消目標の大幅引き上げ
- ▽保育士給与の引き上げへの補助
- ▽保育園への土地貸し出し時の固定資産税などの減免措置
- ▽私立高校生（年収760万円未満世帯）の授業料実質無償化
- ▽都立高校生への給付型奨学金の創設

都議団は都庁内で会見し（下写真）、予算案に賛成した理由について、「福祉、教育などいくつかの分野で、都民要求を反映した施策の一定の前進がみられること、今後さらなる施策の前進を期待できる答弁があった」とのべました。そして「切実な都民要求から見れば部分的ではあるが、石原都政以降の都政の流れから見れば一定の変化ととらえるべきであり、重要な成果だ」と評価しました。



住民の反対が強い幹線道路など

問題点も多い

一方で「これまでの石原都政以来の流れを引きずっている部分があり」として、住民の反対の強い幹線道路などの見直しが進んでいない問題点をあげました。しかし共産党の再三の見直し要求のなかで、小池知事が「見直すべきは見直す」と答弁したとして「今後も小池都政の進む方向を注視し、是々非々の立場で対応を行う」とのべました。

主な問題点

- ◆国の社会保障の連続改善から都民生活を守る点で極めて不十分
- ◆住民の反対の強い幹線道路を重視する予算配分は変わらず

今後もしは々非々の立場で 真の都政改革に全力

日本共産党は、良いところは賛成し応援する、悪いところは厳しく反対する――都民の利益最優先でがんばります。



都議会議員（江東区選出）

あぜあみ・みわこ

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2017年3・4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。

発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可